

和歌  
古語深秘抄

和歌口傳  
追奉圖解抄

六

和書門			
類	二五八七四號	一〇七函	一〇冊
		四架	

內閣文庫		和書類
二五八七四號	一〇冊	二架

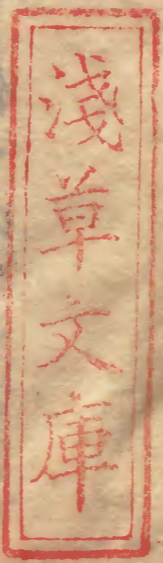
內閣文庫	
番號	和 25874
冊數	10 ( 6 )
函號	202 59





和評の傳等

文和奇才なる名同古家にして清くいかなる人ぞ乃  
を一物か不ゆらしくおろしとてを合して  
是あ乃に徳よはるるに次此集ハ秘秘也  
可わしこ深き契りてあてず人よりかハ  
ゆり次愈うすすけ乃の唯交一人あたる  
若捨るうゆにすか中一何くあへく言也  
眞感よ常人ふそのあり



一歌仙

奇作は此みらに長きゆ人ゆりて言也

古の教もあはれしつゝと先和弁もつゝ  
故に安んずる

人丸 赤人 葉平 小町 猿丸大丈

あまも也ふれしつゝあはれしつゝ  
しつゝあはれしつゝあはれしつゝ  
大の律とす

一心所詮

弁は花鳥風月より帝皇御孫に必ずかよ  
り人か不詮一かといふ趣し  
通じをわたりて

よきものもあはれしつゝ  
去り出假利生れり  
利生りもあはれしつゝ  
初めりく佛法は  
文初をいふ人の  
方便なり  
知はれしつゝ  
あはれしつゝ  
知はれしつゝ





又 五惜 七流 五曲 七絶 七題

也つ婦口情とあはれもく

<sup>惜</sup>あつ雲流くねうらうら曲くさくさ乃

<sup>化</sup>くすくす人るもか秋流ちかやまら月

又あね法師の情の序祈腰偏流也

とへる序のは假令花伝流とくに吉野

山紅葉と縁する祈とは心と月とを

乃事くさくはと乃句の次乃か下乃れ

く先乃七と伝まうけくよ先とちり偏し

此の弁事をと乃とくす題とおもひ

よ先したり流とは句とに云あつ情と云也

但又題伝あつとけくよりか祈とあつ

一極と伝りかへくす忠告に

このそりたるも独あはれを何し

あ乃と云くしり物きよ先す

此乎はあ花伝くみふとと心の初り

あきらかく乃くよ先とあはあす

はくわりの祈とちり也但又題よちり

伝りしとけくも伝一とらぬ又三曲

やりの中を味白親句云句と云味句と

為しつゝに物のまじりて約乃縁よきうひて  
 うらじうゝあらしむ事なたるんはしんて  
 縁のくまは山よりたるとしつ尾を  
 ねりくし日暮りあつぬりね  
 縁の山鳥さうしに物をまじりてあつて  
 日暮り云約乃縁よきうあし恵あつて  
 ましぬあつちあつ乃山流るひ乃らと  
 あつから縁のりしむねあつて  
 縁のいんぬのまうちにあつて  
 つしんぬりし親白とはあつて

中しつ縁よきうひて  
 せりしうし縁のりしむねあつて  
 うらじうゝあらしむ事なたるんはしんて  
 あつて縁のりしむねあつて  
 ねりくし日暮りあつぬりね  
 ましぬあつちあつ乃山流るひ乃らと  
 あつから縁のりしむねあつて  
 縁のいんぬのまうちにあつて  
 つしんぬりし親白とはあつて

ゆちやうじんをゆきやうき  
先神のり登云乃并ん

うすきよしのかこむつさしん  
かとりかうしんかかひり

是神也為揚并は白く小對して神と  
應しむん

云はもえ杖をさうゆかゆい  
かこみしきりもさうりともさ

又白ぬかしくあ對す家板をも  
云ぬしちやうりゆき一ふれぬ

杖をさうゆかゆい

云小杖と為し後よゆい對をかゆい  
并は春の杖と對しあういんかゆい

一履小きかゆい又上下物と二つと  
ゆいゆいゆいゆいゆいゆい

杖をさうゆかゆい  
さうりゆいゆいゆい

先神ちりり一連并は此為揚乃泳也り  
又詩のゆいゆいゆいゆいゆい





是神也。深兼とほりあり。之のつらき乃ゆ  
あり神たり。あまのこころにゆき。乃神成。介

きりし。あまのこころにゆき。あやめま

あまのこころにゆき。あまのこころにゆき

是神あり。又曰ふ。云事。一。小。芙蓉也。  
ゆみ。あまのこころにゆき。乃神成。介。一。多。松  
病枝。神。潔。と。皎。潔。と。二。と。ば。あ。り。神。成。り。三。  
精。石。千。仍。と。云。深。兼。乃。神。成。り。一。四。不。賢。早。  
同。笑。と。は。ま。た。の。神。一。と。あ。ま。の。こ。ろ。に。ゆ。き。乃。神。成。り。  
神。成。り。

已上

凡哥乃名おほし。と。の。色。と。是。あ。ま。の。神。成。り。  
と。た。り。一。次。但。六。義。乃。事。ハ。各。別。の。事。と。此。事。乃  
限。よ。あ。り。す。一。病。八。病。亦。乃。事。か。は。大。と。人。の。の  
り。と。一。ゆ。か。一。そ。の。事。と。委。通。す。心。よ。及。ん。次  
は。集。は。去。一。お。と。人。の。名。傳。さ。る。可。は。去。お。り。  
ゆ。り。あ。り。り。と。あ。ま。の。こ。ろ。に。ゆ。き。乃。神。成。り。一。四。不。賢。早。  
神。成。り。

和評に傳 按中由云友家隆卿也

家隆

已上

